

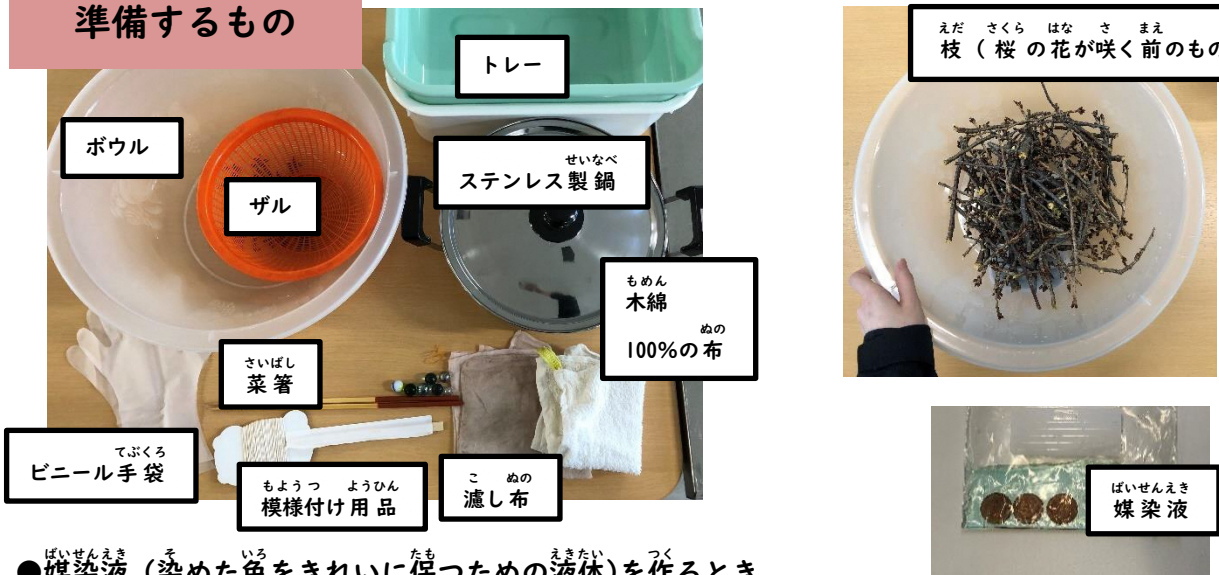
く さ き ぞ 草木染め

おうちのひと
いっしょに読んで
作業してね!

く さ き ぞ 1、草木染めとは？

くさき きのえだなどの植物から、色を取り出し、布などを染めることを草木染めと言います。
あなたのお気に入りのハンカチや洋服も、草木染めされた物かもしれませんよ。
今回は桜の木をつかった草木染めの方法を紹介します！

じゅんぴ 準備するもの



● 媒染液 (染めた色をきれいに保つための液体) を作る時

10円玉(銅)3枚、お酢30ml、水30ml、チャック付きの袋、深めのトレーかボウルまたは
ミョウバン 1g、お湯1L、深めのトレーかボウル

● 濃染処理 (きれいな色に染めるための準備) をする時

木綿100%の布(この布で草木染めをする)、豆乳(布が浸かるくらいの量)、ボウル

● 染液を作る時

水1.3L×2、重曹7g×2、
枝(桜の花が咲く前のもの ※桜の木の周辺に落ちている枝を使ってください)160g、
ステンレス製鍋or ホーロー鍋(アルミ製は、染まりにくくなるため使用しない)、
濾し布、ザル、ボウル、菜箸

生えている桜の枝は、折って使わないでください!

● 染めるとき

ぬるま湯、濃染処理後の布、中性洗剤、トレー、ビニール手袋
模様付け用品…ビー玉、わりばし、輪ゴム、タコ糸、せんたくバサミなど

2、下準備をしよう！

●染めた色をきれいに保つための液(媒染液)を作る 2つの方法を紹介しします

銅の場合

- 1、10円玉3枚、お酢30ml、水30mlを一緒にチャック付きの袋に入れる
- 2、3白～7白程度浸ける(お酢が薄い青色にかわってきます)
- 3、ペーパーフィルターで漉す
- 4、深めのトレーかボウルに媒染原液をぬるま湯で100～1,000倍に薄める

媒染液の完成！

ミョウバンの場合

- 1、深めののトレーかボウルに40度くらいのお湯1Lを入れます
- 2、1のお湯にミョウバン1gを入れ、溶かします

媒染液の完成！

●きれいな色に染めるための準備(濃染処理)をする

- 1、布を豆乳に20～30分浸ける
- 2、固く絞って天日干しする
- 3、布がパリパリになるまでしっかり乾かす



●染めるための液(染液)を作る (1番液は捨てる。2番液と3番液を使います!)

- 1、水を鍋に入れ沸騰させ、枝を入れて、10分程度、中火で煮る。漉し布をザルにかぶせ染液(1番液)を捨てる
- 2、新しい水1.3Lと重曹7gを入れ、沸騰後1、で使った枝を20分中火で煮る
- 3、漉し布をザルにかぶせ、ボウルに染液を入れる。染液(2番液)の完成
- 4、2、3の工程を繰り返し、染液(3番液)をつくる



※1番液は草木染めに適さないため、捨てています。2番液、3番液が草木染めに適しています。

また、2、3番液を混ぜて使用すると、色が悪くなる恐れがあります。



染液の出来上がり！茶色の液体だけど…
何色に染まるかな？

3、染める (染液に布を浸ける、媒染液につける、乾かす)

- 1、汚れや糊を落とすため、洗剤を入れたお湯で濃染処理をした布を洗い、しっかりすすぐ
- 2、ぬるま湯(お風呂ぐらい)に40分程度布を浸し、十分に水分を吸収させる(重要!!)
- 3、布を取り出して固く絞り、ビー玉やせんたくバサミ、わりばし、輪ゴム、タコ糸を使って模様をつける



せんたくバサミを使った場合



ビー玉を輪ゴムで結んだ場合



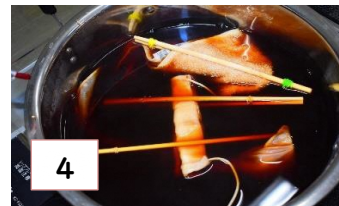
わりばしを使った場合

チャレンジ

いろいろ組み合わせても楽しい模様ができるかも!!



- 4、染液に20分程度浸ける。染液は温度が高い方がよい
※使用する布の対応温度で行ってください。
この説明では60度で行っています



- 5、布を染液から取り出したら、洗った水に色が出ないぐらいまで念入りに洗う
この時、素手で染液を触らないように、ビニール手袋を使う

- 6、媒染液に20分程度つけ、その後水洗いする
この時も、ビニール手袋を使う
気に入った色に染まるまで、繰り返し4、5の作業を行う



- 7、しっかり脱水して陰干しする
※金属にあてないこと
※天日干しする場合、日光が均一に当たるようにする

- 8、アイロンを中温でかける
※使用する布の対応温度で行ってください

こうすることで、染めた色を布に、定着させることができます

4、染めた後のお手入れ

中性洗剤で優しく手洗いをしてください。漂白剤、蛍光剤、強力な洗剤を使うのはやめましょう。また、ドライクリーニングは変色する恐れがあります。

汗や食べこぼし、色落ちする場合がありますため、付着した場合はすぐにぬるま湯につけ、洗剤で手洗いしてください。

5、草木染めを行う際の注意点

1、媒染液と染液を扱うときは、ビニール手袋をしてください

染液を素手で触ってしまうと、肌荒れの原因となります。触れた場合は、すぐに水で洗いましょう。

※沸騰したばかりの染液を扱う場合、ビニール手袋が溶けてやけどの原因となる恐れがあるため、使用しないでください。

2、金属アレルギーをお持ちの場合は、媒染液の扱いに気をつけてください

チャレンジ

染液の1番液、2番液、3番液の色の变化に
注目してみよう!!



いちばんえき
一番液



にばんえき
二番液



さんばんえき
三番液



作った染液はすぐに使うこともできますが、ペットボトルに入れ直射日光のあたらない涼しい場所に1週間ほどおいておくと、さらにきれいな色になります。夏場は冷蔵庫保存をおすすめします。